

◎公表する財務諸表等の内容について

1. 統一的な基準による地方公会計制度について

地方公共団体における予算・決算に係る会計制度（官庁会計）は、現金収支を議会の民主的統制下に置くことで、予算の適正・確実な執行を図るという観点から、確定性、客観性、透明性に優れた単式簿記による現金主義会計を採用してきました。

一方で、財政の透明性を高め、説明責任をより適切に図る観点から、単式簿記による現金主義会計では把握できない情報（ストック情報（資産・負債））や見えにくいコスト情報（減価償却費等）を説明する必要性が一層高まっており、そのためにはその補完として複式簿記による発生主義会計の導入が重要となります。

このことから、総務省より平成26年度に複式簿記による発生主義会計の導入の促進等を内容とする「統一的な基準による地方公会計の整備促進について」の通知がなされ、原則として平成29年度までに実施するよう要請がなされました。

こうしたことから、南河内環境事業組合では、発生主義、複式簿記といった企業会計的手法の考え方に基づく、統一的な基準による地方公会計制度を導入し、ストック情報やフルコスト情報などが把握できるよう、決算書等これまでの資料に加えて、平成28年度決算より財務諸表を作成しました。

2. 財務諸表について

財務諸表とは、「貸借対照表」、「行政コスト計算書」、「純資産変動計算書」、「資金収支計算書」のいわゆる財務4表と会計方針などを記載した「注記」、財務4表の内容を補足する「附属明細書」にて構成されています。

【貸借対照表】（貸借対照表） →略称：BS（Balance Sheet）

・基準日時点における財政状態（資産・負債・純資産の残高及び内訳）を表示したもの

【行政コスト計算書】（損益計算書） →略称：PL（Profit and Loss statement）

・一会計期間中の費用・収益の取引高を表示したもの

→現金収支を伴わない減価償却費等も費用として計上

【純資産変動計算書】（株主資本等変動計算書） →略称：NW（Net Worth statement）

・一会計期間中の純資産（及びその内部構成）の変動を表示したもの

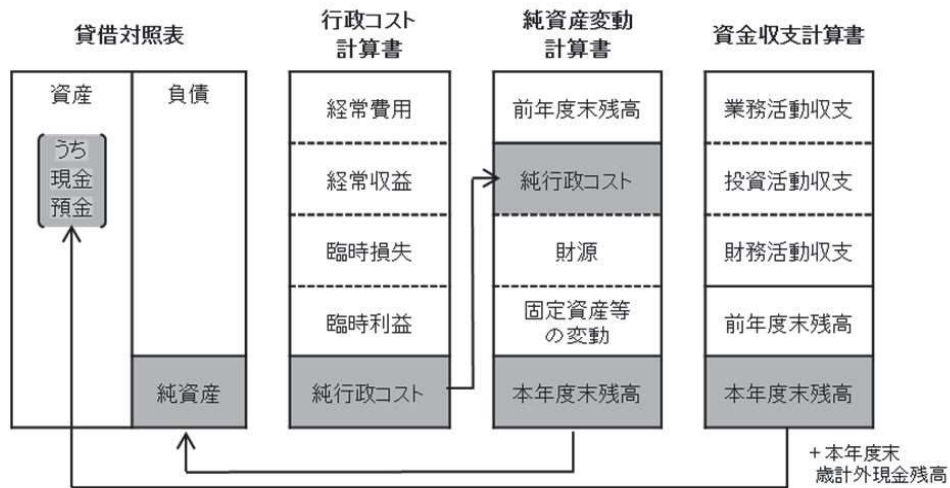
【資金収支計算書】（キャッシュ・フロー計算書） →略称：CF（Cash Flow statement）

・一会計期間中の現金の受払いを3つの区分で表示したもの

（企業会計の書類名を括弧書きしています。）

3. 財務諸表（4表）の関連性

【財務書類4表構成の相互関係】



※1 貸借対照表の資産のうち「現金預金」の金額は、資金収支計算書の本年度末残高に本年度末歳計外現金残高を足したものと対応します。

※2 貸借対照表の「純資産」の金額は、純資産変動計算書の本年度末残高と対応します。

※3 行政コスト計算書の「純行政コスト」の金額は、純資産変動計算書に記載されます。

【出典：総務省 統一的な基準による地方公会計マニュアルより抜粋・引用】